

2021年度 水稻防除暦

(株) 山東農園 [フリーダイヤル] 0120-09-9393 [FAX] 073-478-2655

時期		対象病害虫	薬剤名	倍数	使用基準	備考	
育苗期	種子消毒	もみ枯細菌病・馬鹿苗病	ｽﾎﾟﾙﾄｸｽﾀｰﾅSE	200倍	浸種前/1回	24時間浸漬	
		ごま葉枯病・いもち病				乾燥籾種1キロあたり処理薬量2 L	
		ｲｼｶﾞﾚﾝﾅﾁｭ	ｽﾐﾁｵﾝ乳剤	1000倍	は種前/1回	※薬液浸漬後効果安定のために必ず風乾する	
	播種直後	苗立枯病	ﾀｺﾚｰﾄ水和剤	400倍	は種時から緑化期/2回	1箱当り希釈液0.5Lを土壌灌注	
	代かき	除草	兆(ｷﾞｻｼ) 70ｱﾌﾞﾙ	500ml/10a	植代時～移植7日前又は移植直後		
本田期	田植当日	紋枯病・いもち病 ﾆｶﾒｲﾁｭｳ・ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾂﾏｸﾞﾛﾕｵｺﾊﾞｲ・ｲﾅｾﾞｳﾐｼ	箱将軍粒剤	1箱50g	移植7日前～当日/1回	<u>水稻苗箱薬剤</u> ○ <u>サンスパイク箱粒剤（紋枯なし）</u>	
	田植後 ○代かき時除草あり →田植後2-3週間目 ○代かき時除草なし →田植後1週間目	除草	粒剤 ホクト粒剤	3kg/10a	移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	○田植同時除草処理には、忍（ｼﾋﾞ）粒剤1和 <u>中後期除草剤</u>	
			液剤 ゴエモンF	500cc/10a	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	○クリンチャーEW（ノビエ・ｷｬｳｽﾞﾒﾋI） ○クリンチャーバスME（ノビエ・広葉） ○バサグラン粒剤（広葉）	
			ゴエモンジャンボ	300g/10a		○ゲパード粒剤・ジャンボ（ノビエ・広葉）	
	発生時	スクミリンゴガイ	ジャンボたにくん	2kg/10a	移植後、ただし収穫60日前/2回		
	田植1ヶ月後～ 出穂前5日前	いもち病・内穎褐変病	ブラシンF	1000倍	7日/2回	○ニカメイチュウなどハマキムシ類の発生が多い場合は、パダン水1500倍を加用する。	
		紋枯病	モンカットF	1000倍	14日/3回		
		ツマグロヨコバイ・ウンカ類 コブノメイガ・付ダ類	トレボンEW・乳剤	1000倍	14日/3回		
	出穂後10日～	いもち病	ブラシンF	1000倍	7日/2回	○秋ウンカにはアブロード水和剤1500倍を加用し、株元までしっかり散布する。 <u>○秋ウンカ多発園では、エミリアFL1000倍（収穫7日前/2回）が良い。</u>	
紋枯病		バリダシン液剤	1000倍	14日/5回			
カメムシ類・ウンカ類		ダントツ水溶剤	4000倍	7日/3回			

※太文字および下線部分が昨年の防除暦からの変更点になります。